

コンゴ東部における性暴力と紛争鉱物

デニ・ムクウエゲ医師

血の鉱物資源——タンタル

今日は私の国であるコンゴ民主共和国の東部における「紛争鉱物」と女性に対する暴力の関係についてお話しさせていただきます。

天然資源が豊かにあることは本来開発の可能性をその地域に与えるべきです。しかしコンゴ

では反対に社会的な分裂を生み国民に貧困と不幸を押し付けています。とくに私たちの地域であるコンゴ東部でそのような問題が起きています。とりわけ女性と子どもが犠牲になっています。すべての人、すべての場所で、人権と安全と幸福を守ることはこの世界のすべての人の責任だと思えます。グローバル経済はより多くの天然資源を必要としています。天然資源は貧しい国にあります。そこで外国や現地の開発者の倫理の問題が出てきます。国際的にも開発を取り締まるための法律がありません。そのため何十年にわたって血が流され社会全体が崩壊しています。コンゴでは鉱物資源の開発と性暴力の間には複雑な関係があります。今日はコロンバイト・タンタルにかぎって簡単に話します。

コロンバイト・タンタルは業界ではコルタンと言われています。コロンバイトの製錬から得られます。世界の埋蔵量の8割をコンゴが有している

と言われています。先進的な技術を使う産業ではこれを大量に使っており、たとえばコンピュータのコンデンサや携帯電話の材料として使われています。熱に強く腐食に強いためロケット、ミサイル、飛行機にも使われている材料です。しかしそのタンタルがコンゴの女性たちに恐ろしい苦しみを与えているのです。

1996年にコンゴの紛争が始まりました。私はよくコンゴは扉も窓もない宝石店のようなものだというたとえをします。国内外のさまざまな人が略奪をしていきます。2002年に和平合意がなされたことで私たちはこれで平和に暮らせると希望を持っていましたが、紛争終結後も武装勢力の活動は止まず組織的な略奪が行われました。たとえば2009年には鉱山資源が集中しているキブの鉱山の約半分を武装集団が支配していたというInternational Peace Information Service (I.P.I.S.)の報告があります。そうした鉱山では女性や子どもが重労働を課され、きわめて重大な人権侵害が行なわれています。鉱山資源の違法開発と結びついた資源は血の鉱物と呼ばれています。金、錫、タンタル、タングステンが「紛争鉱物」にあたります。

資源の調達経路が武装勢力の資金源に

コルタンなどの鉱物の開発が殺人をとまなうようになるメカニズムを考えていきたいと思えます。

コンゴには規則も法律もありません。だから安く開発できます。税も最低賃金もないからです。子どもたちは重労働を強いられ、ほとんど奴隷のように使われています。世界の経済界は非常に厳しい競争にさらされています。そのため企業はコストダウンを求めて、脆弱な国家から資源を仕入れます。脆弱な国家ならば規則やチェックがありません。安い価格で原材料を手に入れるために、多国籍企業の一部は羞恥心も迷いもなく地元政治家や時には武装勢力を支持し、血の鉱物資源へのアクセスを確保しています。当然そのような中では汚職が蔓延し十分な交渉なしに契約が結ばれ人権侵害にさらされます。

キブにあるシャンブンダという小さな村では毎日64機の飛行機が150トンのコルタンをヨーロッパ、中国、ドバイに運んでいることを国連の専門家が報告しています。結局紛争の資金は外から持ち込む必要はなく自分たちでこの調達経路を維持すればいいわけです。マフィア化された調達経路が密輸の温床になり武装勢力の資金源になっているのです。

性暴力をふるわれた3万人以上の女性の出身地と、鉱山の位置と、国連コンゴ共和国安定化ミッション(MONUSCO)の情報をもとにした武装勢力の拠点の位置とを地図上にプロット

すると驚くほどに一致しています。大規模かつ組織的に性暴力と関係しているのです。

レイプは性的な欲求から発しているわけでは
ありません。これは一種の「性的テロリズム」です。
被害者に大きなインパクトを与えるために行な
われるのです。あらゆる手段を使って相手に「俺
には権力がある。お前のことをいかようにも支
配できる」と見せつける手段の一つとして性暴力
は使われています。性的テロリズムは体系的に
行なわれています。それぞれの武装グループにそ
れぞれの方法があり女性の性器の傷を見るとど
のグループが犯したのがわかります。グループ
全体が同じように傷つける方法をとっているとい
うことは誰かが指導していることが考えられま
す。

たとえばあるグループは女性の性器に焼灼剤
を吹き付けます。あるいは木の棒や銃を使って
損傷を残します。殺す目的ではなく一生残る傷
を女性に与え暴行を村人全体に見せるのです。
村の1000人、2000人、3000人、すべてが一
晩で犯されるわけです。このようなことは計画
や目的がなければできません。私は今まで一番年
少の患者としては6カ月の乳児の手術をしまし
たが性器が完全に破壊されていました。私の人
生にも深い傷をつけました。年代は一番上が8歳
以上の女性、男性も1%ほどいます。

こうした暴力的なことを見せつけ夫や村の住
民がその村を離れていくと、そこに武装勢力が
入ってきて近隣の鉱山を支配します。村に残って
いる住民は奴隷のように使われます。

レイプは暴力と紛争の文脈の中で行なわれ村
の象徴的な価値である女性と家族を破壊します。
妻と夫、親と子どもとの関係を破壊することでコ
ミュニティを弱体化させるのです。クラウディア・
ロドリゲスという研究者が統計を出していますが、
レイプを受けた女性の3%は命を落とし10%はエ
イズにかかっているという数字があります。

暴力には経済的な理由の他に地政学的要因や
覇権争いという要因もあります。特にさまざまな
鉱山資源の管理をあげることができま。Global
Witnessが出している数字によるとコンゴ政府の
天然資源管理費用は13億6000ドルに上ると
試算されています。これは教育、保健費への年
間支出の2倍にあたります。天然資源の管理が
まずいからです。

EUの対応

しかし、こうした状況に各国はただ傍観し
ているだけではありません。EUでは調達経路
をしつかりと守り紛争地域の鉱物を使わない
ようにする規制を課しています。これは「紛
争鉱物」の取引規制を定めたアメリカのドッ
ド・フランク法1502条にのっとったもので
す。苦しみの中で生み出されたこのEU規制は
多国籍企業にとつては企業経営の自由を奪う
ものです。しかし私たちにとつては倫理的意義
をもつ規制です。制限のない自由は結局自由
を殺してしまいます。自由を野放しにせず人
権を守るのはみんなの責任だと私は主張しま
した。

この規制によって、製品にこれらの鉱物を
使う企業は鉱物がどこから来ているのかを監
査する調達経路の確認が義務づけられました。
この規制を受ける企業は欧州だけでも88万社
にのぼると推測されています。

世界人権宣言の理想がありますが、コンゴ
東部の人々にとつてはそれがいつからどのよう
に実現するのが問題です。そこにある野蛮
さ、非人道的な状態からどうやって抜け出す
ことができるのか、いつ平和と人権と正義が守
られる世界が来るのか、世界人権宣言を無視
し、人々の人権を無視してどうやってグローバ
ル経済を行なっていくことができるのか。

ある文明が偉大かどうかをはかるとき、も
のがどれだけたくさんあるとか、どれだけ快
適かではなく、人が平等であり相互依存の中
で相手とともに豊かになろうという意識がど
れだけ高いかが重要なのです。私たちが同じ
ひとつの人類であるなら共に立ち上がりまし
ょう。卑劣な戦争と暴力のために従属のため
れ、性暴力にあつている女性たちの尊厳のため
に立ち上がりましょう。声をあげてこのシステ
ムから利益を得ている人たちを糾弾しまし
ょう。声をあげること、より希望に満ちた人
間性の豊かな社会を実現しましょう。

デニ・ムクウエゲ医師はコンゴの産婦人科医、人権活動家
国連人権賞、サハロフ賞を受賞。この記事は2016年10
月に東京大学で行われた彼の講演を要約したものです。

出典：東大TV「デニ・ムクウエゲ医師講演会」(日本語字幕)
(<http://todaytv/contents-list/events/mukwege/lecture/>)